



エネンちゃん

2019. 8. 13 発行



資源エネルギー環境広報(資工環広報)は、北海道経済産業局ホームページにも掲載しております。ホームページではバックナンバーもご覧いただけます。

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokpp/kankoho/index.htm>



【お問合せは】北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室
TEL:011-709-2311(内線:2634) E-mail: hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp

北海道胆振東部地震からもうすぐ1年 ～引き続き、無理のない範囲での省エネ・節電・燃料対策に取り組みましょう～

昨年9月6日未明に発生した「北海道胆振東部地震」から間もなく1年を迎えます。

今月は、震災当時からこれまでのエネルギーインフラ強化の取組を振り返るとともに、電気やエネルギーの重要性を改めて考え、私たちにできる省エネや節電、燃料対策の取組をご紹介します。

北海道胆振東部地震

- ・2018年9月6日3時7分発生、最大震度7（厚真町）
- ・北海道全域において停電（ブラックアウト）が発生。
- ・SS（ガソリンスタンド）には給油を求める車が長蛇の列。



<震災以降の主なエネルギーインフラ強化の取組>

電力関係

- ・2018年10月、北海道ガス(株)が北海道初のLNG(液化天然ガス)火力発電所「北ガス石狩発電所」の運転を開始（7.8万kW）
- ・2019年2月、北海道電力(株)が同社初のLNG火発「石狩湾新港発電所1号機」の運転を開始（56.94万kW）
- ・2019年3月、新北本連系線が稼働（60万kW→90万kW）
- ・再生可能エネルギーの大量導入に伴う課題を克服するため、送電網や大型蓄電池の整備について実証事業を推進

燃料供給関係

- ・「災害時における円滑な燃料供給体制の実現に向けた検討会」を開催（2018年11月～2019年3月、全3回）→結果について、[枠下をご覧ください。](#)
- ・自治体、医療・福祉施設、避難所等へのLPガス・石油タンク等の導入を支援（2019年4月～）
- ・災害時における地域住民の燃料供給拠点となる「住民拠点SS」への自家発電設備等の導入を支援（2019年3月～）
- ◎北海道内の「住民拠点SS」の数は、震災前から比べ、震災後半年で約2倍に増えています。

<家庭でできる節電メニュー>

タイプ	対策項目	節電効果目安
	不要な照明をできるだけ消す。 ※照明の3割程度を消灯した場合	6%
	画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。	3%
	冷蔵庫の設定を「中」または「弱」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。 ※食品の傷みにご注意ください。	1～2%
	便座保温・温水の設定温度を下げ、不使用時はふたを閉める。	1%

<検討会のまとめから、需要家の方々が取り組める主な対策>

- ◆ 非常用発電機を設置する、または増強する。
- ◆ 発電機用燃料を常に貯蔵しておく。
- ◆ 燃料供給の要請先が分からない、要請しても調達できない、という事態を未然に防ぐため、災害時にスムーズに燃料を確保できる体制を構築する。
- ◆ 日頃から石油、LPガス販売業者との関係を構築する。

J-クレジット制度の循環モデル事業を北海道で初めて実施 ～スタートは占冠村&美深町から～

北海道経済産業局では、J-クレジット制度(※1)の普及やJ-クレジットを使った地域活性化を目的として、占冠村、美深町とそれぞれ連携し、循環モデル(※2)事業を北海道で初めて実施します。

【事業概要】

CO2排出削減・吸収量をクレジットとしたことを見える化した「カーボン・オフセット(※3)シール(CO2-1kg分)」が添付された地場産品を消費者が購入等することにより、地球温暖化対策への貢献を実感し、環境負荷を考慮した行動を取っていただく契機となることを目的に、J-クレジットのしくみを活用した循環モデル事業を実施します。



<カーボン・オフセットシール>

◆占冠村の循環モデル事業◆

「占冠産メロン」、「占冠産はちみつセット」、「占冠産100%メープルシロップ」等にカーボン・オフセットシールを添付し、ふるさと納税返礼品として寄附者に送付するほか、道の駅「自然体感しむかつぶ」でも販売。



<道の駅 自然体感しむかつぶ>

◆美深町の循環モデル事業◆

美深産のハルユタカとかぼちゃ等を使用した「ピウカ・ポッチャ」、「シラカボ」等にカーボン・オフセットシールを添付し、道の駅「びふか」で販売するほか、「北の恵み食ベマルシェ」等にて販売。



<道の駅 びふか>

- (※1) J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入などの取組によるCO2など温室効果ガスの排出削減・吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。
- (※2) 循環モデルとは、クレジット創出者→クレジット活用者→消費者・イベントユーザー →温暖化対策貢献や地域活性化に貢献→さらなるクレジット創出へとつながるクレジット創出・活用モデル。
- (※3) カーボン・オフセットとは、自ら削減できないCO2(カーボン)を、他の人のCO2削減・吸収量(J-クレジット)で埋め合わせ(オフセット)をすること。

※詳細については、以下のURLをご覧ください。

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokni/20190802/index.htm>



<環境・リサイクル課>

水産加工業の経営に役立つ省エネ促進セミナーを開催します ～利益につながる省エネ手法を紹介～

北海道経済産業局では、道内の水産加工業の省エネを促進するため、省エネ促進セミナーを開催します。エネルギー消費量が多く、原魚の不漁や魚価高騰の影響を受けるといった厳しい経営状況にある水産加工業が、省エネに取り組むメリットや、エネルギーの「見える化」及び効果的な省エネ手法について、事例を交えてお伝えします。

【小樽会場】2019年8月22日(木) 14:00～16:30 ※定員30名
小樽経済センター 4階Aホール(小樽市稲穂2丁目22-1)

【森会場】2019年8月29日(木) 14:30～17:00 ※定員30名
森町役場 新棟2階会議室(茅部郡森町字御幸町144-1)

※プログラムや参加申込等、詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20190708/index.htm>



<エネルギー対策課>

「科学的特性マップ」に関する対話型全国説明会 参加者募集中!

原子力発電環境整備機構(NUMO)と経済産業省資源エネルギー庁は、高レベル放射性廃棄物の地層処分の仕組みや、処分の実現に向けた候補地の選定プロセスなどのご理解を深めていただくため、2017年7月に公表した「科学的特性マップ」に関する対話型説明会を全国で開催しています。

【釧路会場】2019年8月26日(月) 18:20～20:30 ※先着順
道東経済センタービル 5階大会議室(釧路市大町1-1-1)

【帯広会場】2019年9月18日(水) 18:20～20:30 ※先着順
帯広経済センタービル 6階大会議室(帯広市西3条南9-1-1)

※プログラムや参加申込等、詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.numo.or.jp/taiwa/2018/>



<電力事業課>

編集後記

夏ですね!夏の思い出、皆さまはどんなことを思い出しますか?私は暑いのが苦手なので、夏の思い出がほとんどありません。唯一、今でも思い出するのが…小学校高学年の頃、家の階段にハエが止まっているのを見つけました。暴れると怖いので、離れた所から殺虫剤を念入りにつけ、別室にて数分待機。生死を確認するためおそるおそる見に行ったら…スイカのタネでした。そとティッシュで拾いました。(米谷)

【問合せ先】経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室
TEL: 011-709-2311 内線: 2634
E-mail: hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp